

卒業生が教えてくれたこと

～学び続ける日々～



本校では、毎年、前年度に卒業した生徒を数人招いて、後輩に話をしてもらっています。「仕事について」「昼休みや休憩時間の過ごし方について」「やりがいについて」「ストレス発散について」など、卒業して働いている今、感じていることを率直に話してもらいました。

いくつか内容を紹介します。

卒業生の話から

【 仕事について 】

- ・介護の仕事をしたと思って、倉敷琴浦高等支援学校に入学しました。今は、ベッドメイキングなどの介護補助をしています。高校時代は早起きが苦手でしたが、今は6時に家を出て、夜7時半に帰宅します。
- ・実習に行って、ここなら仕事を続けられるかなと思いました。車の備品を作っています。

【 昼休みや休憩時間の過ごし方について 】

- ・職員や利用者の方と話をすることが楽しいです。
- ・リフレッシュをするために普段着に着替えて散歩をすることもあります。

【 やりがいについて 】

- ・自分しかやらない仕事をして、「ありがとう」と言ってもらえるときに、やりがいを感じます。
- ・仕事を任されたときにやりがいを感じます。

【 ストレス発散について 】

- ・休日には、友達と全力で遊びます。ストレスをためると病気になったりして、職場に迷惑をかけることになると思います。だから、好きなことに没頭して、仕事も全力でできるようにしていきたいと思います。

【 後輩へのメッセージ 】

- ・会社にはいろいろな年代の人がいます。仕事は倉敷琴浦のコースの授業での取り組みとは違います。学生時代に礼儀や敬語をしっかりと学んでおくことが大切だと思います。
- ・3年間の学校生活で、遊びも授業も楽しんで取り組むことが、仕事をする上で大切だと思います。

*倉敷琴浦のコースの授業：倉敷琴浦高等支援学校は、職業生活に必要な専門的な知識、技能及び実践的な態度を身に付けることができるように三つのコースを設定しています。各コースでは、次のような内容を学習します。

家政コース…ミシンを使った縫製作業、商品販売準備、倉庫内作業など
流通サービスコース…物流、卸売り・小売り等のバックヤード業務、事務処理など
環境サービスコース…ビル・住宅等の清掃、公園等の緑化環境の維持・管理など

◎1年生へ

- ・仲のよい友達をつくるのが大切だと思います。友達同士の絆は、卒業しても切れません。友達と話すことで、相談ができたりストレス解消になったりします。

◎2年生へ

- ・夢を見つけてほしいです。生きる目標になります。夢や目標があると、自分の生活を見直すことができます。

◎3年生へ

- ・自分ができていることを知ってほしいです。自分にはできないのにしてしまうことは、大きな失敗につながります。できないことは努力していくと、レベルアップにもつながります。

たくさんの大切なことを話してくれた先輩方、ありがとうございました。卒業してからも自分を見つめ、周りの方々の支えを感じていることがよくわかりました。また、職場の方々とかかわりながら仕事に取り組むことを通して、社会人としての学びを一つ一つ積み重ねていることを感じました。

職場の方々に温かく見守られ、育てていただいていることに深く感謝いたします。

周りの方々の思いを受け止め、指導していただいたことを自分のものにしてながら成長していく力。この力を学校の教育の中で育てていく大切さを改めて感じました。



倉敷琴浦高等支援学校校舎と築山

*上記の話の内容を掲載することについては、卒業生各人に了解を得ています。
また、掲載している文章については、本人の言葉をできるだけ忠実に記述しています。